

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン 上場取引所 東
 コード番号 8253 URL http://www.saisoncard.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 田村 麻由美 TEL 03-3982-0700
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	126,566	2.1	22,531	2.9	26,607	△2.6	18,526	5.0
26年3月期第2四半期	123,938	—	21,893	—	27,306	—	17,649	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 22,614百万円 (△5.8%) 26年3月期第2四半期 23,998百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	100.89	—
26年3月期第2四半期	96.11	95.94

(注) 26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及処理が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	2,318,167	439,879	18.8	2,379.19
26年3月期	2,285,943	422,829	18.3	2,283.29

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 436,890百万円 26年3月期 419,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	256,000	3.4	42,000	15.6	49,000	10.3	32,000	25.2	174.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月7日)公表の「平成27年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	185,444,772株	26年3月期	185,444,772株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,814,888株	26年3月期	1,814,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	183,630,161株	26年3月期2Q	183,631,577株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び四半期決算短信の英訳（要約版）を提供しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が一部で見られるものの、企業収益や雇用情勢が改善傾向にある中で、個人消費は底堅く推移しており、基調的には緩やかな回復が続きました。

当社が属するノンバンク業界においては、クレジットカードの利用領域拡大や利便性向上に伴いカードショッピングは拡大基調が続いておりますが、カードキャッシング市場は本格的回復には至っていないほか、多様化する決済サービスへの異業種参入による競争激化など、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況において、当社は「変化に対応できるノンバンク」を目指し、「クレジットカードを中心としたキャッシュレス決済の拡充」「ネットビジネス強化によるフィービジネスの拡充」「リース事業やファイナンス事業などノンバンクビジネスの強化」「アジア圏内でのリテール金融ビジネスへの本格的参入」など、ノンバンクとしての総合的な事業の成長を目指してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

	(百万円)				(円)
	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
当第2四半期連結累計期間	126,566	22,531	26,607	18,526	100.89
前第2四半期連結累計期間	123,938	21,893	27,306	17,649	96.11
伸び率	2.1%	2.9%	△2.6%	5.0%	5.0%

営業収益は、主力の「クレジットサービス事業」では、今後の持続的成長に向けた顧客基盤拡大の取り組みとして、プレミアムカードである「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」の中でも特に高稼働・高単価が見込まれるプラチナカード・ゴールドカードの会員募集や提携小売業店舗と一体となった提携カードの会員募集のほか、企業の経費精算業務の省力化などビジネスをサポートする法人・個人事業主向けカードの会員募集に取り組んだ結果、新規カード会員数は117万人（前年同期比8.0%減）、当第2四半期連結会計期間末のカード会員数は、2,480万人（前期末比0.2%増）となりました。

カード取扱高拡大の取り組みとしては、提携小売業を中心としたカード利用活性プロモーションやリボルビング払い・ボーナス一括払いの利用促進、公共料金や携帯電話料金等、継続利用のあるカード決済化の推進により、ショッピング取扱高は1兆9,893億円（前年同期比8.0%増）、ショッピングのリボルビング残高は2,813億円（前期末比5.0%増）と順調に推移いたしました。カードキャッシングについては、適正な与信による利用活性施策に注力した結果、新規利用が増加し、カードキャッシング取扱高は1,455億円（前年同期比7.5%増）、カードキャッシング残高は2,451億円（前期末比0.1%増）と回復傾向にあります。

決済領域の拡大に向けた取り組みとしては、ドラッグストア業界大手の㈱ココカラファインと提携・発行しているVisaプリペイドカード「ココカラクラブカード」や、KDDI㈱、㈱ウェブマネーと連携し、カード発行など各種業務を受託しているMasterCard®プリペイドカード「au WALLET カード」「MasterCard®プリペイド付きWebMoney Card」など、国際ブランドプリペイドカードの推進を強化いたしました。

以上の結果、同事業全体では増収となりました。

「リース事業」では、リース既存主力販売店との信頼関係強化や新規重点販売店への営業強化により増収となりました。

「ファイナンス事業」では、信用保証事業において提携金融機関との営業・管理両面にわたる密接な連携により保証残高が2,454億円（前期末比6.7%増）と順調に推移したことや、「フラット35」及び「セゾンの資産形成ローン」が収益貢献したことなどにより、増収となりました。

「不動産関連事業」では、不動産売上高が減少したことにより減収となりました。

「エンタテインメント事業」では、売上高が減少したことにより減収となりました。

以上の結果、営業収益は1,265億66百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

営業費用は、資金調達環境の改善により金融費用が減少したものの、カード取扱高拡大に伴う連動費用の増加や消費税率引き上げに伴い税負担が増加するなどした結果、営業費用は1,040億35百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

以上の結果、営業利益は225億31百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

経常利益は、266億7百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

四半期純利益は、185億26百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

1株当たり四半期純利益は100円89銭となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して322億24百万円増加し、2兆3,181億67百万円となりました。これは、主に共同基幹システム関連投資等によりソフトウェア仮勘定が119億96百万円増加したこと及び、投資有価証券が時価変動等により85億66百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して151億74百万円増加し、1兆8,782億88百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が673億84百万円減少した一方、有利子負債が830億63百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して170億49百万円増加し、4,398億79百万円となりました。これは、主に利益剰余金が129億62百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの当社グループの業績や経営環境を踏まえ、平成26年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり変更いたしました。

なお、詳細につきましては、本日（平成26年11月7日）公表の「平成27年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想と実績との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<平成27年3月期 連結業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	253,000	34,000	40,000	23,000	125.25
今回修正予想 (B)	256,000	42,000	49,000	32,000	174.26
増減額 (B-A)	3,000	8,000	9,000	9,000	
増減率 (%)	1.2	23.5	22.5	39.1	

(参考)

<平成27年3月期 個別業績予想>

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	212,500	30,500	34,000	17,500	95.26
今回修正予想 (B)	217,000	37,650	40,800	25,000	136.08
増減額 (B-A)	4,500	7,150	6,800	7,500	
増減率 (%)	2.1	23.4	20.0	42.9	

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(売上計上基準の変更)

一部の持分法適用会社は、パッケージソフトウェアの保守サービス売上高について、従来、一部の保守契約は保守サービスを開始した期に契約額全額を売上高に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、保守契約期間に応じて売上高を計上する方法に変更いたしました。

これは、保守サービス売上高が堅調に伸びている中で、第1四半期連結会計期間から新販売管理システムが本格稼動したことにより、該当する一部の保守サービスを提供する時期と売上高の計上時期との対応関係を見直した結果、取引の実態をより適切に反映できることから、期間損益計算を適正に行うために実施したものであります。これにより、全ての保守サービスは契約期間に応じて売上高を計上する方法となっております。

当該会計方針の変更は遡及処理され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及処理後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及処理を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は13百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は138百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,742	59,762
割賦売掛金	1,396,495	1,387,782
リース投資資産	225,333	227,490
営業投資有価証券	18,979	23,326
販売用不動産	83,212	88,504
買取債権	9,818	12,859
その他のたな卸資産	1,403	1,377
その他	39,392	42,928
貸倒引当金	△51,677	△46,644
流動資産合計	1,775,699	1,797,387
固定資産		
有形固定資産	62,833	61,908
無形固定資産	138,941	148,970
投資その他の資産		
整理事業関連資産	104,078	97,486
その他	214,494	220,114
貸倒引当金	△10,704	△8,450
投資その他の資産合計	307,868	309,151
固定資産合計	509,643	520,030
繰延資産	599	749
資産合計	2,285,943	2,318,167
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	273,444	206,060
短期借入金	199,160	203,160
1年内返済予定の長期借入金	160,010	140,610
1年内償還予定の社債	60,225	70,225
コマーシャル・ペーパー	115,000	185,000
1年内返済予定の債権流動化借入金	7,493	1,832
リース債務	1,270	1,137
未払法人税等	11,756	12,301
賞与引当金	2,062	2,087
役員賞与引当金	147	70
利息返還損失引当金	10,436	7,760
商品券回収損失引当金	167	162
割賦利益繰延	6,835	7,148
その他	37,217	38,423
流動負債合計	885,228	875,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
固定負債		
社債	215,212	235,000
長期借入金	660,164	665,119
リース債務	2,204	1,719
役員退職慰労引当金	82	91
債務保証損失引当金	4,296	4,386
瑕疵保証引当金	18	6
ポイント引当金	77,390	80,146
利息返還損失引当金	9,263	7,030
資産除去債務	821	835
その他	8,430	7,974
固定負債合計	977,885	1,002,308
負債合計	1,863,113	1,878,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,929	75,929
資本剰余金	84,838	84,838
利益剰余金	237,784	250,747
自己株式	△6,123	△6,124
株主資本合計	392,428	405,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,054	32,593
繰延ヘッジ損益	△1,201	△1,093
その他の包括利益累計額合計	26,852	31,500
新株予約権	0	0
少数株主持分	3,548	2,988
純資産合計	422,829	439,879
負債純資産合計	2,285,943	2,318,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益		
クレジットサービス事業収益	93,136	95,825
リース事業収益	6,915	7,013
ファイナンス事業収益	9,064	10,713
不動産関連事業利益		
不動産関連事業収益	26,336	21,283
不動産関連事業原価	18,525	14,067
不動産関連事業利益	7,811	7,216
エンタテインメント事業利益		
エンタテインメント事業収益	37,870	32,124
エンタテインメント事業原価	31,050	26,481
エンタテインメント事業利益	6,820	5,643
金融収益	189	154
営業収益合計	123,938	126,566
営業費用		
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	6,122	6,094
貸倒引当金繰入額	6,912	7,125
利息返還損失引当金繰入額	427	148
債務保証損失引当金繰入額	1,738	2,016
支払手数料	27,672	29,143
その他	52,378	53,094
販売費及び一般管理費合計	95,251	97,623
金融費用	6,793	6,412
営業費用合計	102,044	104,035
営業利益	21,893	22,531
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	1,741	674
持分法による投資利益	2,683	2,768
償却債権取立益	790	584
その他	298	250
営業外収益合計	5,529	4,293
営業外費用		
支払利息	15	9
投資事業組合等分配損	10	37
整理事業関連損失	58	61
貯蔵品処分損	18	54
その他	14	53
営業外費用合計	116	216
経常利益	27,306	26,607

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	0	229
関係会社株式売却益	76	—
固定資産売却益	1	148
収用補償金	—	754
その他	—	5
特別利益合計	78	1,137
特別損失		
固定資産処分損	20	4
投資有価証券評価損	2	207
投資有価証券売却損	—	68
減損損失	21	26
その他	—	1
特別損失合計	44	307
税金等調整前四半期純利益	27,340	27,437
法人税、住民税及び事業税	11,197	11,738
法人税等調整額	△1,624	△2,267
法人税等合計	9,573	9,471
少数株主損益調整前四半期純利益	17,767	17,966
少数株主利益又は少数株主損失(△)	117	△559
四半期純利益	17,649	18,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,767	17,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,512	4,098
繰延ヘッジ損益	459	107
持分法適用会社に対する持分相当額	1,259	441
その他の包括利益合計	6,231	4,647
四半期包括利益	23,998	22,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,881	23,174
少数株主に係る四半期包括利益	117	△559

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クレジット サービス 事業	リース事業	ファイナ ンス事業	不動産関連 事業	エンタテイ ンメント 事業	計		
営業収益								
外部顧客への 営業収益	93,326	6,915	9,065	7,811	6,820	123,938	—	123,938
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	544	12	—	36	10	603	△603	—
計	93,870	6,928	9,065	7,847	6,830	124,541	△603	123,938
セグメント利益	9,990	2,808	4,545	3,352	1,192	21,889	3	21,893

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クレジット サービス 事業	リース事業	ファイナ ンス事業	不動産関連 事業	エンタテイ ンメント 事業	計		
営業収益								
外部顧客への 営業収益	95,980	7,013	10,713	7,216	5,643	126,566	—	126,566
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	476	16	—	11	9	512	△512	—
計	96,456	7,029	10,713	7,227	5,652	127,078	△512	126,566
セグメント利益	9,668	3,031	6,079	3,003	746	22,528	2	22,531

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。